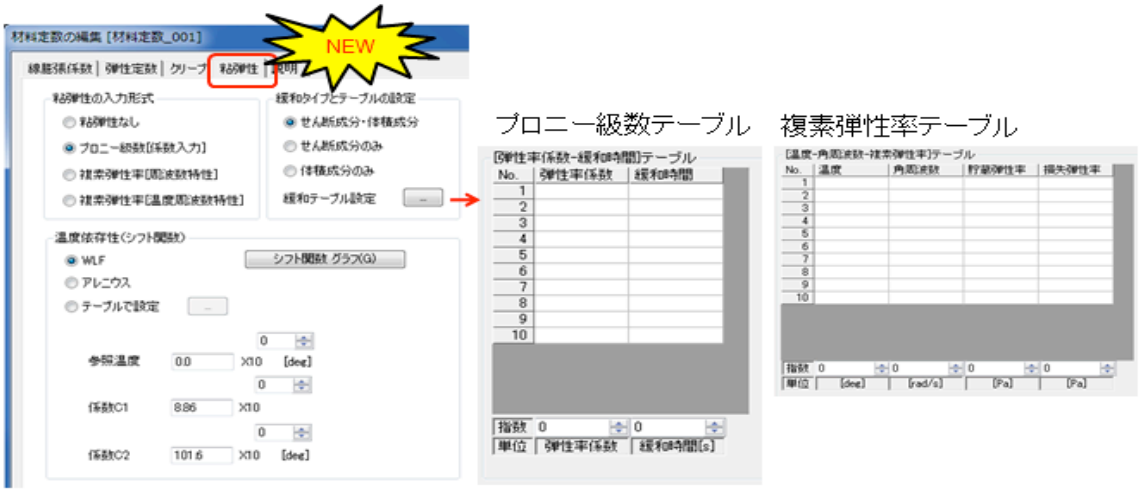
【添付資料】

～バージョンアップ内容～

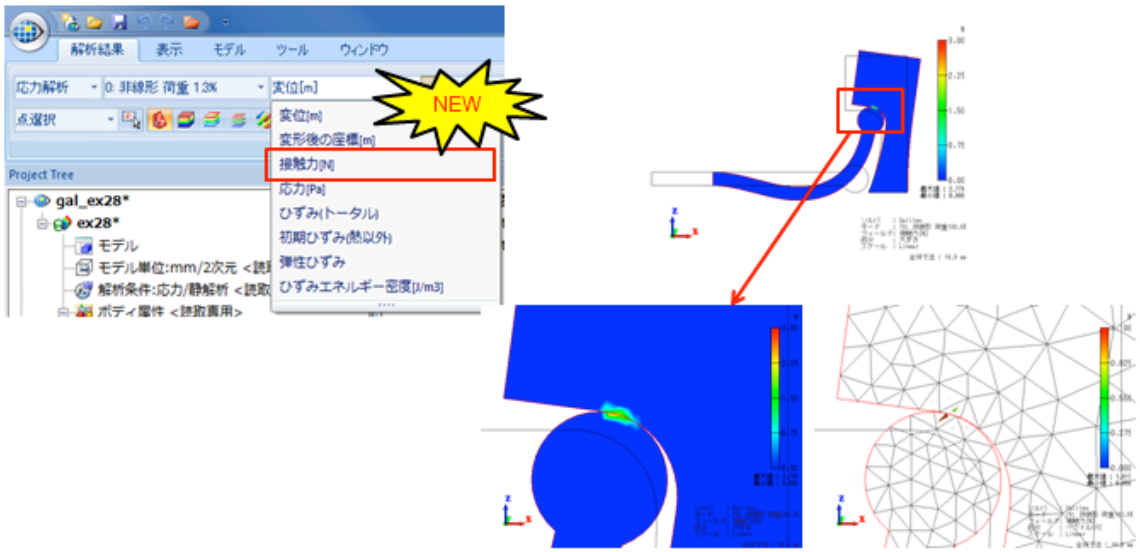
応力解析のステップ解析/調和解析で、粘弾性材料の解析が可能になりました

粘弾性材料：粘性に起因するクリープ変形、応力緩和が起こる材料
樹脂やシートなどの粘弾性材料の解析が可能です。



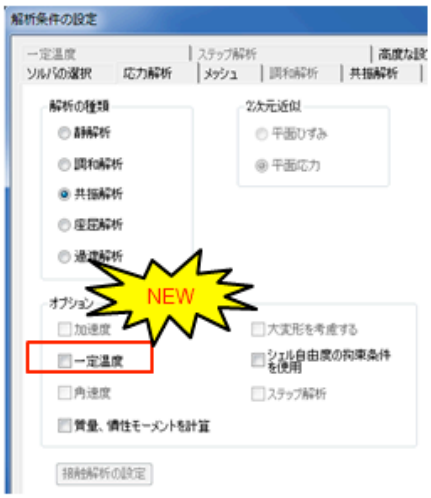
応力解析の接触解析で、フィールド値：接触力の表示が可能になりました

接触箇所と接触力の方向が容易に確認できます。



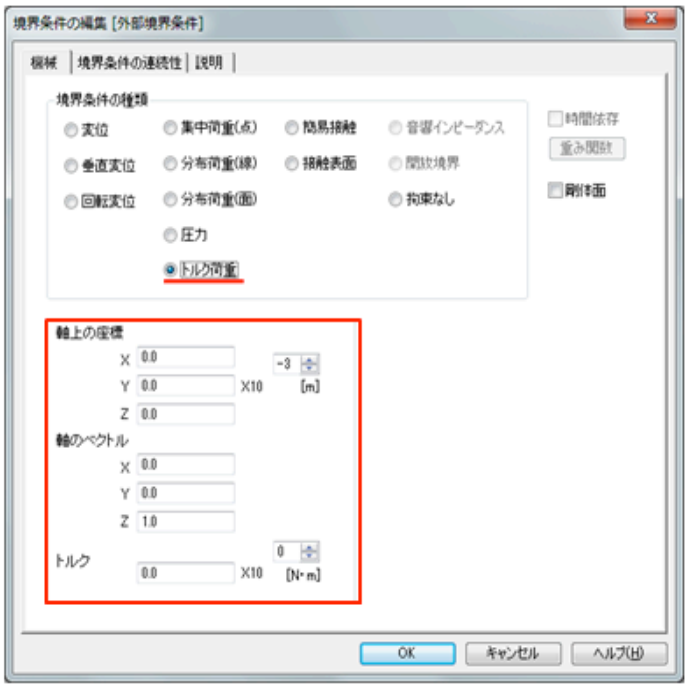
応力解析の動解析(過渡、調和、共振)で、弾性定数の温度依存性の使用が可能になりました

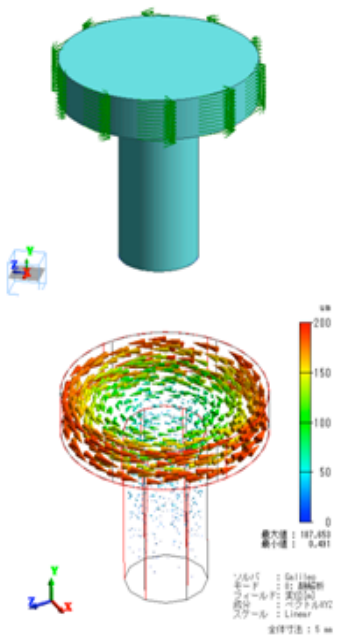
解析条件で一定温度オプションにチェックを入れて、
一定温度タブで温度を指定してください。



調和解析の場合のみ、粘弾性材料を扱うこともできます。
粘弾性材料では、機械的損失が周波数、温度依存性を
持つ場合の解析も可能となります。

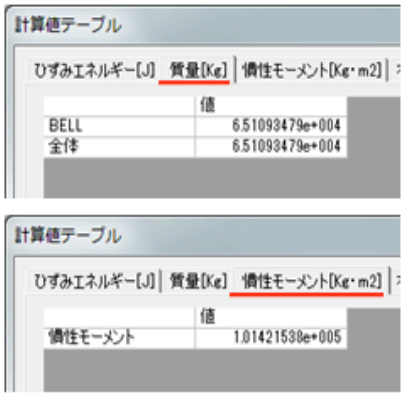
トルク荷重と回転変位の境界条件が追加されました





解析オプションとして質量と慣性モーメント計算機能が追加されました

計算値テーブルにモデルの質量と慣性モーメントを出力できます。



このオプションをオンにすると材料定数の密度、解析条件の角速度タブが設定可能となります。
角速度タブは慣性モーメント算出の際の回転軸情報として参照されます。

～さらに使いやすくなったGUI～

ツリー表示などの改良により、操作がスピードアップされました

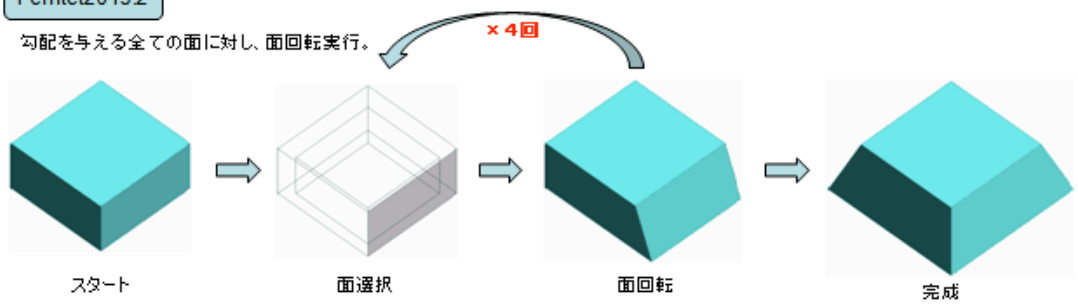
7,238個のボディをもつプロジェクトでテスト

操作	旧バージョン	2014.0
プロジェクトを開く	8分12秒	1分24秒
ボディ属性の変更	9分00秒	1秒
ソルバの変更	8分30秒	5秒
単位の変更	7分35秒	45秒
UnDo	7分00秒	2分10秒
ReDo	6分50秒	2分37秒
ボディツリーのフィルタ	3分00秒	8秒
直方体を1つ追加	3分00秒	7秒
材料定数の編集	3分00秒	1秒
全ボディの矩形選択	1分15秒	32秒
シェーディングへ切替え	1分02秒	15秒

抜き勾配が簡単に設定できるようになりました

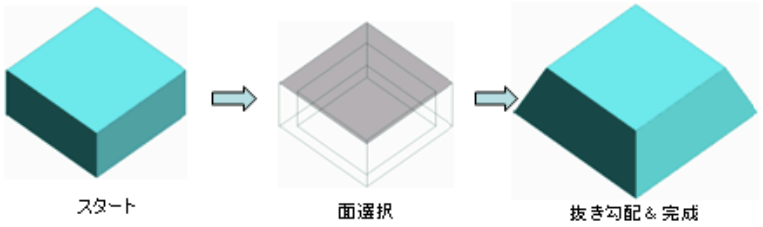
Femtet2013.2

勾配を与える全ての面に対し、面回転実行。



Femtet2014.0

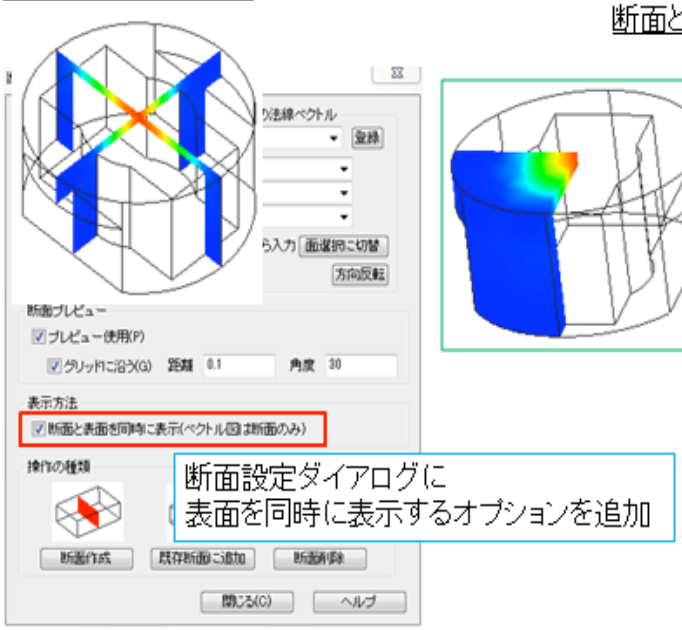
参照面（勾配を与える全ての面に隣接する面）に対し、抜き勾配実行。



従来よりも少ない手数で、
抜き勾配を設定可能になった。

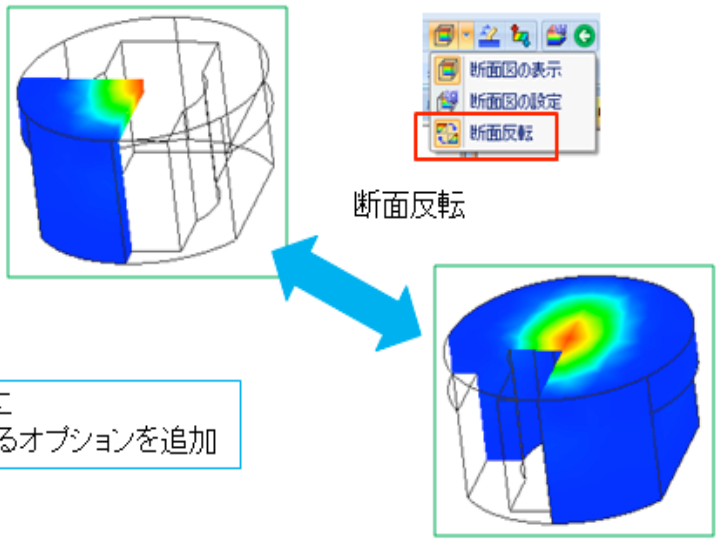
断面と表面が、同時に表示できるようになりました

従来は断面のみ表示



断面設定ダイアログに
表面を同時に表示するオプションを追加

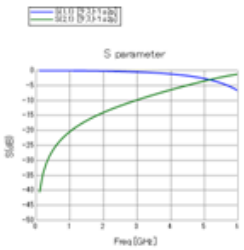
断面と表面を同時に表示

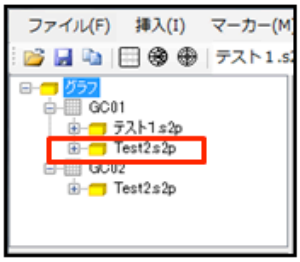
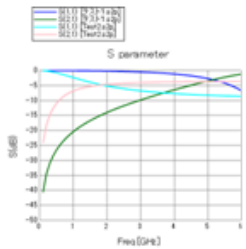


断面反転

ツリーからグラフパスノードをグラフノードにドラッグ&ドロップして、別グラフにデータをコピーできるようになりました。

グラフパスノードをマウスで
グラフノードにドラッグ&ドロップ





グラフデータが
コピーされる